

はま Y O U

Vol.
49
2021.冬号



「雪とみまがう白砂」 撮影 看護師 永田 千雅

看護師・理学療法士
言語聴覚士・介護福祉士
外来予約担当・外来診療補助



募集中



CONTENTS

理念・基本方針 2

2021年を振り返って 3~4

新採用医師のご紹介
CT装置が入れ替わりました 5

救急救命士の気管挿管実習の
受入について 6

診察室から
~リハビリテーション専門外来のご紹介~ ... 7

各部署から
~人間ドック・健診センターへようこそ~ ... 8

感染対策(COVID-19)に関しての考察 ... 9~10

一週間のバランス献立 11

● 白浜はまゆう病院 外来診療担当表

整形外科外来

診療日/月~金曜日 午前
受付時間/午前8時半~11時半
診療時間/午前9時~12時

担当 : 小池 達也 部長
ながた ひろゆき
永田 浩之 医師
たちばな たくや
橘 拓也 医師

外科/消化器外科外来

診療日/月曜日~土曜日 午前
受付時間/午前8時半~11時半
診療時間/午前9時~12時

担当 : 荒居 琢磨 部長
やまざと ゆうぞう
山里 有三 医師
こじょう まさひろ
小城 正大 医師

白浜はまゆう病院は、夜間・休日を問わず
「365日・24時間の救急医療」に対応しています。



公益財団法人日本医療機能評価機構 認定施設複合病院(一般病棟1・
リハビリテーション病院・慢性期病院)機能種別版機能評価項目3rdG: Ver.2.0



理念

私たちは、地域に根ざした医療機関として、誠実さと思いやりをもって、質の高いサービスを提供し、健康・福祉のレベルの高い地域づくりに努めます。

基本方針

1. 利用者の権利の尊重

私たちは、健康増進から看取りまで、利用者の皆様の気持ちや権利を大切にされた医療とケアを提供します。

2. 地域に開かれた存在

私たちは、24時間いつでも、誰でも、困った時は気軽に受診・相談していただける、地域に開かれた医療機関・サービス提供機関を目指します。

3. 協力と連携

私たちは、院内各職種が手を携え、地域の他機関とも協力連携し、健康増進・診断と治療・リハビリテーション・看取りまでの一貫した包括的な地域医療と福祉を提供します。

4. 利用者とのパートナーシップ

私たちは、患者・利用者の皆様と手を携え、安全で質の高い医療・ケアを提供します。

5. 事故・災害への対応

私たちは、大規模な自然災害や事故に対応できるように、普段から備えを強め、いざと言うときに頼りになる病院を目指します。

6. 質の維持と改善

私たちは、常に研修を行い、時代の水準を維持するとともに、お互いに注意し合い、サービスの質の向上に努めます。

7. 観光地の病院としての対応

私たちは、観光客の人々が安心して訪れられるよう、不慮の事故や病気に対しての診療体制を整備します。

あみだ
いっしょ
みんなで
ついでに
がんばり
ましょう



公益目的事業へのご寄附のお願い

当法人の公益目的事業にご理解とご賛同をいただき、是非ご寄附をお寄せくださいますようお願い申し上げます。皆様からの寄附金は、公益目的事業遂行のために有効に使用させていただきます。

事業目的

当法人は、白浜町及びその周辺地域の公衆衛生の向上と地域医療に関する事業を行い、もって地域住民及び観光滞在者等の健康と福祉の増進に寄与することを目的としています。

事業内容(公益目的事業)

当法人は、国立病院等の再編成計画により廃止された元国立白浜温泉病院施設を、医療施設として再利用してほしいという地域住民の願いを実現するため、白浜町はじめ民間団体等の参画により開設された法人です。

現在白浜はまゆう病院、診療所、訪問看護ステーション、骨リウマチ疾患探索研究所を運営し、予防から治療、リハビリテーション、看取りまでの医療・ケアを提供し、地域医療の向上や地域住民、観光滞在者等の健康と福祉の増進に寄与する事業を行っています。

- | | |
|---|----------------------------------|
| (1) 地域医療を主体とする病院の管理運営 | (6) 生活習慣病予防の健康診断及び健康増進並びにがん検診事業 |
| (2) 救急医療の実施 | (7) 無医地区及びへき地等における在宅療養支援診療所の管理運営 |
| (3) 介護保険法による介護医療院の運営並びに居宅介護支援事業及び指定居宅サービス事業等の実施 | (8) 訪問看護ステーションの管理運営 |
| (4) 開放型病院による登録医への共同利用施設としての医療機器及び病床の提供 | (9) 医療・保健・福祉に関する調査研究並びに普及啓発 |
| (5) 温泉を活用したリハビリテーションの推進 | (10) 高齢者・障害者等の医療とケアに関する調査研究 |
| | (11) その他、この法人の目的を達成するための事業 |

税制上の優遇措置

当法人への寄附金には、特定公益増進法人としての税法上の優遇措置が適用され、所得税(個人)、法人税(法人)の控除を受けることができます。(詳細は白浜はまゆう病院ホームページをご覧ください。)

寄附金の申込

白浜はまゆう病院ホームページに掲載しております寄附金申込書に必要事項をご記入の上、下記まで郵送・ファックスしてください。もしくは、下記までご連絡をお願い致します。

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地 白浜はまゆう病院内
公益財団法人白浜医療福祉財団 法人事務局
TEL 0739-43-6200 / FAX 0739-43-7891

2021年を振り返って

白浜はまゆう病院
院長 辻本 登志英



2021年も知らず知らずのうちに残す月日は少なくなり、この1年を振り返る時期となりました。白浜町住民の皆さんお一人お一人に生涯を通じて健康・安寧を提供することが白浜はまゆう病院の使命ですが、振り返りますと喜ばしいこと、そして皆さんにご迷惑をおかけしたことなど、大きな変化がございました。

まず、本年4月に1名、7月にも1名の新たに2人の先生が常勤医として着任いたしました。脳神経内科の中西一郎医長とリハビリテーション科の村井昂太医師であります。脳神経内科中西医長は、白浜町を中心として田辺西牟婁地域の神経難病疾患を引き受けるという気概を持ち、当院に来てくれました。すでに多くの患者さんが中西医長とともに病と付き合っておられると思います。リハビリテーション科村井医師は、リハビリテーション専任の医師として他病院からリハビリテーションで紹介されてきた患者さんや、病院内でリハビリテーションが必要な患者さんを引き受けております。2人の先生ともに病院にとっては欠かせない戦力であり、長く貢献してくれると期待しています。住民の皆さんには、病気のことや今後病気と付き合い生活に心配がございましたら、2人の先生に限らずどの診療科でも、いつでも受診していただけますよう準備しておりますので、長く悩むことなくお越し下さい。

次に、病院としての機能を維持・向上させるために、3つのことがございました。一つは日本病院機能評価機構から病院機能評価を受け、認定されたことです。これは白浜はまゆう病院が、他の全国病院と同等の機能を持っていると認められたことをあらわします。言い換えますと、住民の皆さんには外来や入院、訪問サービスやデイケアサービスといった医療を安心して受けていただける、ということです。

二つ目はCT検査装置の更新です。頭から足までの情報を断層写真として見たり、またそれをもとにあたかも人体図のような図に仕上げたりと、医療技術は時代とともに急速に進歩しております。これに立ち後れることなく、患者さんには最新の技術で最新の検査を行えるよ

う、新しく装置を入れ替えました。

三つ目は電子カルテシステムの入れ替えです。電子カルテはすべての患者情報が入り、日々情報量が増加します。11年間使用していた電子カルテシステムではこの情報を処理できなくなり、日々の診療に支障を来し始めていたため新しく機器を入れ替えました。

これら三つのことは直接見えないことですが、病院として必ず行わねばならないことでした。皆さんに提供する医療は、病院の持つ「ひと」と「モノ」で決まります。「ひと」をみたのが病院機能評価であり、「モノ」によって最新・最良の医療が提供できます。わたしたちの病院が皆さんに良い医療を提供するための更新ですので、患者さん・利用される皆さんにはそれを感じて頂けるように、職員一同努力いたします。このような更新は今後も定期的に必要で、多額の投資を伴いますが、白浜町の病院としての機能を維持するため、病院の努力はもとより白浜町からも倍旧の支援を頂きながら継続してゆきたいと考えています。

さいごに、発生からもう2年になろうとする新型コロナウイルス感染症のことです。2020年4月の病院長就任以降、私は新型コロナウイルス対策に多くの力を注ぎ、患者さん・利用者の皆さんには不便をかける中、少しでも不安を少なく受診していただき、また入院生活を送っていただけるようよびかけ、これに職員全員が呼応し力を合わせて対策を行ってまいりました。しかし、本年8月30日を端に発した院内新型コロナウイルス感染症のクラスターにより、2日間の外来診療停止、16日間の一部入院病棟の閉鎖を余儀なくされました。このため外来および入院患者さん、そして病院施設を利用されている皆さんに多大なご迷惑をお掛けいたしましたことは誠に申し訳なく感じています。クラスター対策が解除された後も、患者さん・利用者の皆さんが感じられるであろう不安を払拭するために、職員一同ますます研鑽を積んでいるところです。受診・利用される皆さんには、コロナ対策のためなおご不便ご負担をかけているところではございますが、どうぞご容赦頂き安心して訪れて下さいますようお願い申し上げます。

白浜はまゆう病院は地域密着型の病院として、質の高い「良い医療」を提供することが使命です。「良い医療」を提供するために職員一同仕事に「楽しみ」と「やりがい」を見つけ、1人1人がプロフェッショナルを意識して取り組みます。

2022年は社会全体の閉塞感が少しでも開放されることを期待し、皆様方には今後も変わらぬご指導、ご支持を頂けますようお願いいたしまして2021年の振り返りといたします。

新採用医師のご紹介



たちばな たくや
橘 拓也 医師 整形外科

大阪市立大学整形外科より転勤となり、10月から半年間、白浜はまゆう病院に勤務することとなった橘と申します。

和歌山県立医科大学出身ですので、白浜はなじみ深くもあり、地域に根差した患者さん一人一人と親身になれる医療を心がけたいと思います。

よろしくお願いします。



こじょう まさひろ
小城 正大 医師 消化器外科

小城正大と申します。

12月から京都府立医科大学から転勤となり白浜はまゆう病院で勤務させて頂いております。

白浜の皆様の優しい人柄にすでに心奪われており、4ヶ月間ではありますがここで働けることがとてもうれしいです。

患者さんとしっかり向き合い、丁寧な診療を心がけますのでどうぞよろしくお願いします。

～2021年10月にCT装置が入れ替わりました～

放射線科長 碓 保之

CT装置は低被ばく、高精細画像を目指して常に新たな技術開発を続けています。今回、導入されたキヤノン製の80列全身用マルチスライスCT装置(Aquilion Lightning Helios i Edition)は寝台の幅が470mm(ゆったり)、寝台の高さが312mmまで下がり(足が床に着きません)、ガントリ開口系780mm(圧迫感がありません)と患者さんに優しい設計となっています。



ソフト面では最新のAI技術であるDeep Learning を駆使することで、革新的な被ばく低減技術が用いられています。また、高齢化や医療技術の進展に伴って、人工関節など金属置換された患者さんが増加している昨今、CT画像診断の大きな障害となっていました。金属アーチファクト低減技術の進歩により劇的に改善されています。

2021年10月より運用を開始し、新たな検査(大腸CT等)も念頭に置き、放射線科技師一同、CT装置の習熟に励みます。

救急救命士の気管挿管実習を受け入れしています

当院麻酔科・手術室では、白浜町消防本部で勤務する救急救命士の気管挿管実習を昨年度より行っており、今年も救急救命士1名を受け入れしています。

気管挿管とは、心肺停止となった傷病者の肺に酸素を送るため、人工呼吸用のチューブを口から気管の中に挿入して酸素の通り道を確保する救命処置のことです。

気管挿管実習にあたっては事前に患者様に説明し書面でご同意いただき、実習中は麻酔科医師が常時立ち合い、指導・監督します。

(救命救急士が実習として参加するのは気管挿管時のみで、手術中の麻酔管理は一貫して麻酔科医師が行います。)

救急救命士が実際の救急の現場で気管挿管できるようになるためには、病院で全身麻酔を受ける患者様に対して30回以上の気管挿管手技に参画、実施したうえで和歌山県救急救命協議会から認定を受けなければなりません。

町内消防署に気管挿管を実施できる救急救命士を一人でも多く増やし当地域の救急医療に貢献するため、今後も微力ながら努力していきます。

◎実習担当医

上林 昭景 麻酔科部長 (日本麻酔科学会認定麻酔科指導医・専門医・認定医)



実習前に医療シュミレータ(人形)に対して挿管トレーニングを行う救急救命士

診察室からのお話



～リハビリテーション専門外来のご紹介～

白浜はまゆう病院リハビリテーション科の村井と申します。

2021年7月よりリハビリテーション科に赴任させていただいております。リハビリテーション科ですが、まだ科としてない病院も多いので内科や外科のような科ほど馴染みがなく、どんな科か分かりにくいという方も多いと思います。

日本リハビリテーション医学会が掲げている理念として、リハビリテーション医学は障害を克服し、機能を回復し、活動を育む、という考え

があり、リハビリテーション医学は疾患治療も含め、患者さん個々が持つ障害を総合的に捉え、能力障害を改善し、さらには社会的不利に対処するための医学になります。そのため、リハビリテーション科は他の科と異なり、「心臓」「肺」「脳」といった特定の臓器を診る科ではなく、「障害」を診る科と言えます。

例えば、脳卒中になり麻痺の症状が出ると再び歩けることを目指してリハビリを行います。幸いにも麻痺がよく改善して何もしなくても歩けるようになる方もいますが、発症前のように歩けなくなる方ももちろんいらっしゃいます。しかし、そういった方の中にも「装具」といったものを使うことで「歩けない」といった障害を克服し歩けるようになる方もいます。あるいは、歩けるようになって自宅に帰ったけれども、最近足が引っかかるようになってきた・足の指が曲がってきて痛く歩けないといった症状に困る方もいます。これは、脳卒中の後遺症の「痙縮」というものになりますが、これは筋肉のコントロールが上手くいかず、緊張が強くなることで、手足がつっぱった状態になってしまう状態のことを指します。症状がなく、生活上支障となっていることがなければ必ずしも治療が必要なわけではありませんが、痛みや傷の原因になったり、歩行や着替えといった場面で日常生活に支障をきたす原因となることもあります。そういった障害に対しても、「ボツリヌス療法」といった治療を行うことで、疼痛の緩和や介助量の軽減を図ることが出来、それによって活動を育むことにつながります。

リハビリテーション外来では、そういった生活上の困りごとに対しても改善のお手伝いをさせていただきます。お気軽にご相談いただければ幸いです。



リハビリテーション科
村井 昂太 医師

各部署から



～ 人間ドック・健診センターへようこそ ～

人間ドック・健診センターでは、協会けんぽ等の事業所健診、市町村・地方職員・公立学校等の人間ドック・市町村国保ドック・後期高齢者医療ドック、がん検診や脳ドックなど、多岐にわたる健診事業を行っており、年間8000人余りの、10代から90歳代までの幅広い年齢層の方にご利用いただいております。

また、2008年度から、内臓肥満に高血圧・高血糖・脂質代謝異常が組み合わさり、心臓病や脳卒中などを引き起こすといわれる、メタボリックシンドロームに基づいた検査項目の特定健診が始まりました。その

健診結果で危険因子が多い方に対しての生活指導（特定保健指導）も同時に始まり、今では年間約220名余の方に保健指導の支援をさせて頂いています。

特定保健指導の支援の内容は、初回の面接で、内臓脂肪の蓄積を解消するために、最も近道な生活習慣の改善策を対象者の方と一緒に考え、食事や運動の具体的な行動計画を立てます。その後、電話や面接などでコンタクトを取りながら、計画を随時修正・継続し、3～6か月後に再度検査を行い、体重・腹囲の減少とともに検査結果の改善を確認します。1年間で終わりではなく、その後も次年度の健診へ向けての自主的な継続をお勧めしています。

こうして経年的にお付き合いをさせて頂いていると、対象の方の健康意識が高まり、生活習慣が変化し、それに伴い身体的な改善も見られ安堵することがあります。さらに禁煙等も自分だけでなく事業所単位で自主的に始められた例もありました。

メタボ解消には、ただ単に痩せれば良いわけではなく、身体状況に応じた生活習慣の改善を行うことにより、少しの努力で体重減少と検査数値の改善が期待できると思っています。それには、「個々の健診結果を正しく理解していただくこと」が最も必要だと感じています。これは特定保健指導に限らず、健診結果を有効に活用するうえで全般的に言えることだと思います。

私たちは、年に1度受けていただく健診が、ご自身の身体状況を認識し、生活習慣を見直すきっかけとなるよう、画一的な指導だけではなく、個人に合わせた情報を、正確に解りやすくお伝えできるよう心がけています。健診等で気になることがありましたら、いつでもお気軽にご相談ください。お待ちしております。



白浜はまゆう病院
人間ドック・健診センター
主任保健師 栞畑 浩子

感染対策(COVID-19)に関する考察

ウイルスとは「病気を起こすもの」というラテン語から由来する言葉ですが、これまで人類は多くのウイルスと共存してきました。生物の進化にも関与した証拠もあり、必ずしも悪者ではありません。近年のグローバリゼーション、都市化で広がりやすくなったとは言えるでしょう。

これまでのデータを読み解くと、感染の波は周期的に訪れています。また緊急事態宣言の少し前に感染のピークを迎え、下がり始めています。これは病気の発症までには潜伏期間があり、感染がいつ起こったのかはリアルタイムに見ることができないので、後手後手になるのは当然と言えます。従って日常的に感染対策をすることが大切なわけですが、かといって家にこもってばかりでも駄目です。どういう場面で感染するのかをわかって、ストレスのない範囲で感染対策をすることが重要です。

今年の夏、デルタ株という変異株がまん延し、感染力も増して多くの感染者が見られたと報道されましたが、ここで注意すべきは「感染力」という言葉です。感染力とは本来「何個のウイルスで感染が成立するか」が本当の言葉の定義ですが、COVID-19に関し

て明確なデータはありません。人に移しやすくなっているというのは、疫学的データからそう言えるわけで、ウイルスを排出する人がその辺を多く出歩くようになったということなのでしょう。

ウイルスの感染が成立するかどうかは寄生する宿主の免疫力とのせめぎ合いで決まるので、感染対策の肝はウイルスを「感染が成立



泌尿器科医長
感染対策委員長
木村 泰典





しない量にまで数を落とすようにすること」に尽きます。ウイルス量をゼロにすることではなく、量を減らしましょうという意識です。つまり、人との距離を取る、接触時間を短くする、広い部屋にいる、窓を開けて換気する、マスクをする、手を洗う・・・で良いわけです。

これまでの状況からすると、ほんのすれ違っただけで感染するという確率は極めて少ないことは皆さんもお分かりかと思いますが、また皆さんが思っている以上に無症状の感染者はいますし、他の動物の間でもコロナウイルスは行き来するので、感染対策はゼロコロナを目指すのではなく、めりはりをつけてストレスのない範囲で必要な場面できっちり行うことが



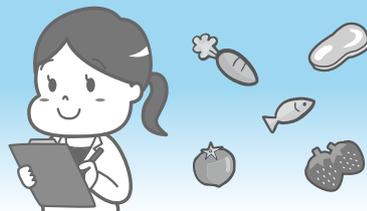
大切です。犯人探し、行政が悪い等、他者の責任に意識を向けることは全くナンセンスです。

風邪を引く時というのは、昨日寒かったからなあとか、無理をしたからなあとか、皆さん心当たりがあるかと思いますが、病気には潜伏期間がありますから、それは時間が短すぎて思い込みなのですが、しかし、発症の引きがねが引かれるかどうかはとても重要です。そのためには心身ともに健やかな状態をキープすることが大切なので、感染が起こる



場面はしっかり意識して対策を行い、それ以外は心配せずにのびのび過ごし、家にこもっていないで、例えば大きな美術館に行って芸術に触れてみるなど、いろいろな体験をする方が、結果的には良い方向に進み、これまでの新興感染症と同様に共存していけるようになると思います。

一週間の バランス献立



食養科 管理栄養士
古井 啓詞

管理栄養士が伝えたい日々の食事のポイントについてご紹介いたします。
食事の基本は主食・主菜・副菜をバランス良く組み合わせることです。
1週間を目安に色々な食材で、調理法・味つけ等を工夫しながら食事を楽しんでみてください。
組み合わせることで様々な種類の栄養素を摂ることができます。

栄養素の豆知識 ビタミンCについて

- ・白血球の働きを強化し免疫力を高める。
- ・皮膚、血管、軟骨などに存在し、細胞と細胞をつなげているコラーゲンの生成を助ける。
- ・鉄の吸収を助け、貧血を予防する。

	朝	昼	夕
日	米飯・味付海苔・里芋の煮物 味噌汁・牛乳 	米飯・肉団子の甘酢あんかけ 卵とじ・ハムサラダ・漬物	米飯・タラの焼き浸し 揚げ出し豆腐 ほうれん草のごま和え・果物
月	ロールパン・マーマレード ミネストローネ・牛乳・果物	米飯・鶏もろみ焼き・漬物 ひじき五目煮・キャベツ酢の物 	米飯・鯖の塩焼き・卵豆腐 白和え・牛乳かん 
火	米飯・ふりかけ・炒り卵 味噌汁・牛乳 朝食は、脳を活性化させることで身体を目覚めさせる役割や睡眠中に低下した体温を高める効果があります。朝食はきちんと摂りましょう。	米飯 アジフライ・果物 マカロニサラダ・れんこんきんぴら	米飯 豆腐ふくさ焼き・果物 南瓜含め煮・もやしの辛子和え 
水	ロールパン はちみつ 大根の中華薄くず煮・牛乳・果物	米飯・タラの黄身焼き 漬物・高野豆腐含め煮 白菜お浸し	米飯・さつまいもコロッケ 茄子カレー炒め 人参のマリネ・漬物 サツマイモの皮には、肉質部よりカルシウムが多く含まれています。紫色には抗酸化作用の高いアントシアニンが含まれています。よく洗って皮も活かしましょう。
木	米飯・ふりかけ 卵とじ・味噌汁 牛乳 	米飯・青椒牛肉絲 大根旨煮 キャベツりんごサラダ・漬物	米飯・豚肉塩麴蒸し 果物・金時煮豆 春菊の和え物 
金	ロールパン ジャム・果物 スクランブルエッグ・牛乳	米飯・クリームシチュー・漬物 絹揚げ煮物・青梗菜の中華和え 	米飯 サワラの山椒焼き キャベツ炒め物 いんげんごまよごし・果物
土	米飯・味付海苔 ほうれん草菜種和え 味噌汁・牛乳	米飯 カレイのムニエル・漬物 うぐいす煮豆・白菜ゆず和え	米飯・赤魚の梅あんかけ 冬瓜の含め煮 韓国風サラダ・漬物

白浜はまゆう病院診療担当表

電話 **43-7880**(受付) **43-6200**(代表)

診療科		月	火	水	木	金	土	
内科	内科1(初診)	午前	辻本 登志英	加藤 寛正	岡 宏保	竹井 陽	中西 一郎	高村 竜一郎
		午後						
	内科2(再診)	午前	岡 宏保	伊藤 揚荘		松尾 晃次	辻本 登志英	
		午後	中村 信男		松尾 晃次	岡 宏保		
	内科3(再診)	午前		辻本 登志英	中村信(第1・3・5)		加藤 寛正	
		午後		渡辺(第1)	中村信男	山崎 幸茂 (診察は内科1使用)	加藤 寛正	
	内科4(再診)	午前		松本 潤	竹井 陽	谷口 友志		
		午後	松本 潤	木下 正博	山下 泰伸	竹井 陽		
	内科5(再診)	午前			谷口 友志	伊藤 揚荘		
		午後	國部(禁煙外来)		谷口 友志	松本 潤	谷口 友志	
外科/消化器外科		午前	荒居/山里	山里 有三	荒居 琢磨 (外科/胆膵ヘルニア外来)	山里 有三	小城 正大	当番医
整形外科1(予約)		午前	永田 浩之		小池 達也		岩切 健太郎	
整形外科2		午前	橘 拓也	橘 拓也	橘 拓也	永田 浩之	永田 浩之	
リウマチ専門外来(予約)		午前		小池 達也		小池 達也		
装具外来		午前		装具外来		装具外来		
小児科	午前	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋
	午後	古久保 和洋	古久保 和洋		古久保 和洋	古久保 和洋		
婦人科	午前	國部 久也	國部 久也	國部 久也				
	午後	國部 久也	國部 久也	國部 久也	國部 久也	國部 久也	國部 久也	
乳腺外科		午前	粉川 庸三	粉川 庸三		粉川 (予約)	粉川 (予約外10:30まで)	
脳神経内科(予約)		午前	中西 一郎	中西 一郎				
泌尿器科	午前	木村 泰典	木村 泰典	川嶋 秀紀	木村 泰典	木村 泰典		当番医
	午後	川嶋 秀紀		木村 泰典				
泌尿器科(専門外来)		午後		川嶋 秀紀 (泌尿器科相談外来)		川嶋 秀紀 (神経因性膀胱女性泌尿器科)		
皮膚科		午前						県立医大
眼科		午後			担当医		担当医	
耳鼻咽喉科(予約)		午後				県立医大		
脳神経外科		午前				尾崎 充宣		
		午後				中北(予約)		
循環器外来(予約)		午前	岡 宏保		中村信(第1・3・5)			
		午後	中村 信男	渡辺(第1)	中村 信男	岡 宏保		
呼吸器外来(予約)		午前				松尾 晃次		
		午後			松尾 晃次			
消化器専門外来		午前		加藤 寛正	谷口 友志	谷口 友志	加藤 寛正	
		午後			谷口/山下	谷口/加藤		
循環器・高血圧専門外来(予約)		午前						担当医(月2回)
膠原病・糖尿病専門外来(予約)		午前		伊藤 揚荘		伊藤 揚荘		
リハビリテーション専門外来(予約)		午後				村井 昂太		
通院リハビリテーション外来		午前	谷口 友志	村井 昂太	担当医	村井 昂太	岡 宏保	
		午後	岡/國部	谷口/岡	谷口 友志	國部 久也	岡/松尾	

2021.12.6~

※火曜日午後 内科3診/循環器外来...第1(渡辺) ※水・金曜日午後 眼科...予約外は先着5名までとさせていただきます。
 ※月・火曜日午前 脳神経内科 中西一郎(予約不要) ※診療担当医が変更になる場合がございます。ご了承下さい。

受付時間	診療時間	●休診 土曜日午後・日祝
午前(月~土)	8:30~11:30	9:00~12:00
午後(月~金)	13:30~16:30	14:00~17:00
循環器外来(月第2・4水)	(予約制)	14:30~17:00
循環器外来第1・3・5(水)	(予約制)	9:00~11:30
		14:00~16:30
循環器外来(火)	(予約制)	13:30~15:30
皮膚科(火)	13:30~15:45	13:30~16:00
眼科(水)	13:30~15:30	14:00~16:30
耳鼻咽喉科(木)	14:00~16:30	14:30~17:00
リハビリテーション専門外来(木)	(予約制)	14:00~17:00
循環器・高血圧専門外来(土)	(予約制)	9:00~12:00

※診療時間外(夜間・休日)に具合が悪くなったときは、日時に関係なく受付しますので、白浜はまゆう病院へ電話でご連絡ください。



公益財団法人白浜医療福祉財団

白浜はまゆう病院 ●理事長 井潤 誠 ●院長 辻本 登志英

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地

TEL.0739(43)6200 FAX.0739(43)7891 【E-mail】info@hamayu-hp.or.jp 【URL】http://www.hamayu-hp.or.jp/

■西 富 田 ク リ ニ ッ ク	〒649-2334 和歌山県西牟婁郡白浜町才野1番地	TEL.0739(45)3600 FAX.0739(45)3678
■鮎 川 診 療 所	〒646-1101 和歌山県田辺市鮎川583番地の3	TEL.0739(48)0031 FAX.0739(48)1005
■日 置 診 療 所	〒649-2511 和歌山県西牟婁郡白浜町日置206番地の1	TEL.0739(52)2002 FAX.0739(52)4192
■三 舞 診 療 所	〒649-2532 和歌山県西牟婁郡白浜町安居3番地	TEL.0739(53)0001 FAX.0739(53)0001
■川 添 診 療 所	〒646-0301 和歌山県西牟婁郡白浜町市鹿野1103番地	TEL.0739(54)0037 FAX.0739(54)0037
■訪問看護ステーションたんぽぽ	〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地	TEL.0739(43)5226 FAX.0739(43)0682
■通所リハビリテーションセンター	〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地	TEL.0739(43)8190 FAX.0739(43)8189